資料３－２

実態把握調査結果
（熊本市）

Agenda

1. 保護者向け調査の単純集計結果 まとめ 03
2. 保護者向け調査の単純集計結果 資料 06
3. 保護者向け調査のクロス集計結果 まとめ 21
4. 保護者向け調査のクロス集計結 資料 24
5. 子ども向け調査の単純集計結果 資料 32

1

保護者向け調査の単純集計結果 まとめ

1．熊本市保護者向け調査単純集計まとめ

- 熊本市で実施された保護者向け実態把握調査の単純集計結果を整理しております。

単純集計の結果(全体の傾向)

基礎情報

- 実査期間：2025年9/９～10/19
- 調査対象：小児慢性特定疾病医療受給者証をお持ちのご家庭
- 調査方法：Web調査
- 回答数：94件

- 子どもの年齢としては、15歳の保護者からの回答が11.7%と最も多くなっています。
- 在籍している保育・教育施設については、「小学校」が26.6%と最も多く、次いで「特別支援学校」が14.9%となっています。

- 医療的ケアを行っているのは、54.3%（「自己注射」を医療的ケアに含まない場合は32%）であり、「医療的ケアを行っていない」の45.7%の回答が最も多く、次いで「自己注射」が22.3%と多くなっています。

不安や悩み/相談

- 在宅の生活における不安や悩みが、「ある」が37.2%と最も多く、次いで「どちらかというとある」が27.7%と多くなっています。
- 不安や悩みとして、「子どもの成長・発育・発達」が80.3%と最も多く、次いで「子どもの病気の悪化」が70.5%と多くなっています。
- 「経済的なこと」「交流機会」「災害時の対応」「悩みを吐き出せないこと」以外は昨年度より回答率が増えています、

- 不安や悩みを「相談した/相談する予定」は45.9%と最も多く、「同居している家族や親族」「在籍している保育所・学校」「医療機関」が相談先として多くなっています。相談先として「自立支援員・相談支援員」と回答した人は昨年度と比較すると11.3ポイント増えています。
- 相談を迷っている理由としては、「相談しても解決できるか分からない」が85.7%と最も多く、次いで「誰に相談すればよいか分からない」が57.1%と多くなっています。
- 相談しなかった理由としては、「相談しても解決しないと思う」が81.8%と最も多くなっています。

2. 熊本市保護者向け調査単純集計まとめ

- 熊本市で実施された保護者向け実態把握調査の単純集計結果を整理しております。

単純集計の結果(全体の傾向)	
不安や悩み/相談	• 就労の不安や悩みが「ある」が45.7%と最も多く、就労について「年齢が低いため、まだ考えていない」が42.6%と多く、次いで「一般就労」が41.5%と多くなっています。
	• 就労に関する不安や悩みについて、「相談した（する予定）」が41.4%と最も多く、相談した（する予定）の人のうち、相談相手は「同居している家族や親族」が66.7%と多く、次いで「在籍している所・学校」が45.8%なっています。 • 就労に不安があるが相談を迷っている人のうち、迷っている理由は「誰に相談すればよいかわからない」「相談しても解決するかわからない」が最も多くなっています。 • 就労に不安があるが相談をしていない人のうち、相談をしていない理由は「相談しても解決しないと思う」が57.9%と最もなっています。
	• 自立のために必要なこととして、「疾病のある子どもに対する理解促進」が94.7%と最も多く、次いで「自治体が発信する情報のわかりやすさ」が91.5%と多くなっています。
	• 相談窓口を利用したいと思えるかについて、「そう思う」が36.2%と最も多く、次いで「とてもそう思う」が28.7%と多くなっています。 • 相談窓口を利用したいと答えた人のうち、相談したい内容について、「将来の生活の見通しについて」が80.3%と最も多く、次いで「疾患に応じた就業について」が63.9%と多くなっています。
支援の活用	• 自立支援事業を「知らない」と回答した人が53.2%と最も多くなっています • 自立支援事業に「参加していない」が85.1%と最も多くなっています。 • 「参加したことがある」人は、相互交流支援事業に参加しています。
	• 自立支援事業に参加していない理由として、「どんな支援があるか知らないから」が60.0%と最も多く、次いで「どこで参加できるか分からないから」が41.3%と多くなっています。

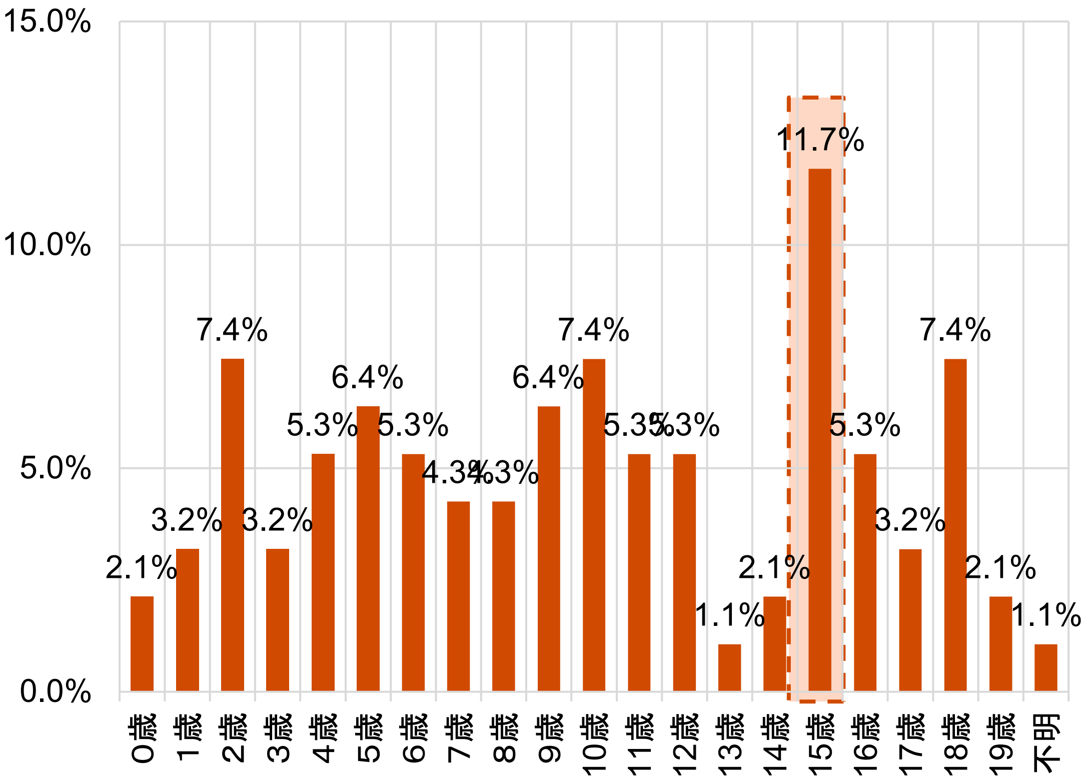
2

保護者向け調査の単純集計結果 資料

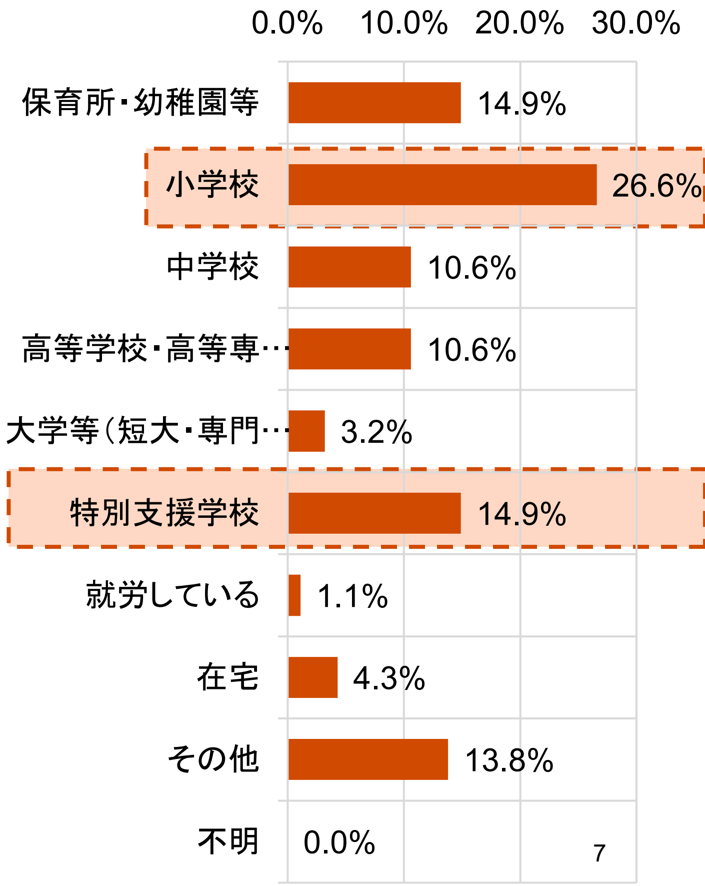
1.【基礎情報】子どもの年齢

- 子どもの年齢としては、15歳の保護者からの回答が11.7%と最も多くなっています。
- 在籍している保育・教育施設については、「小学校」が26.6%と最も多く、次いで「特別支援学校」が14.9%となっています。

問 5.お子さまの年齢をお答えください。（回答日時点で）
（n=94、単一回答）



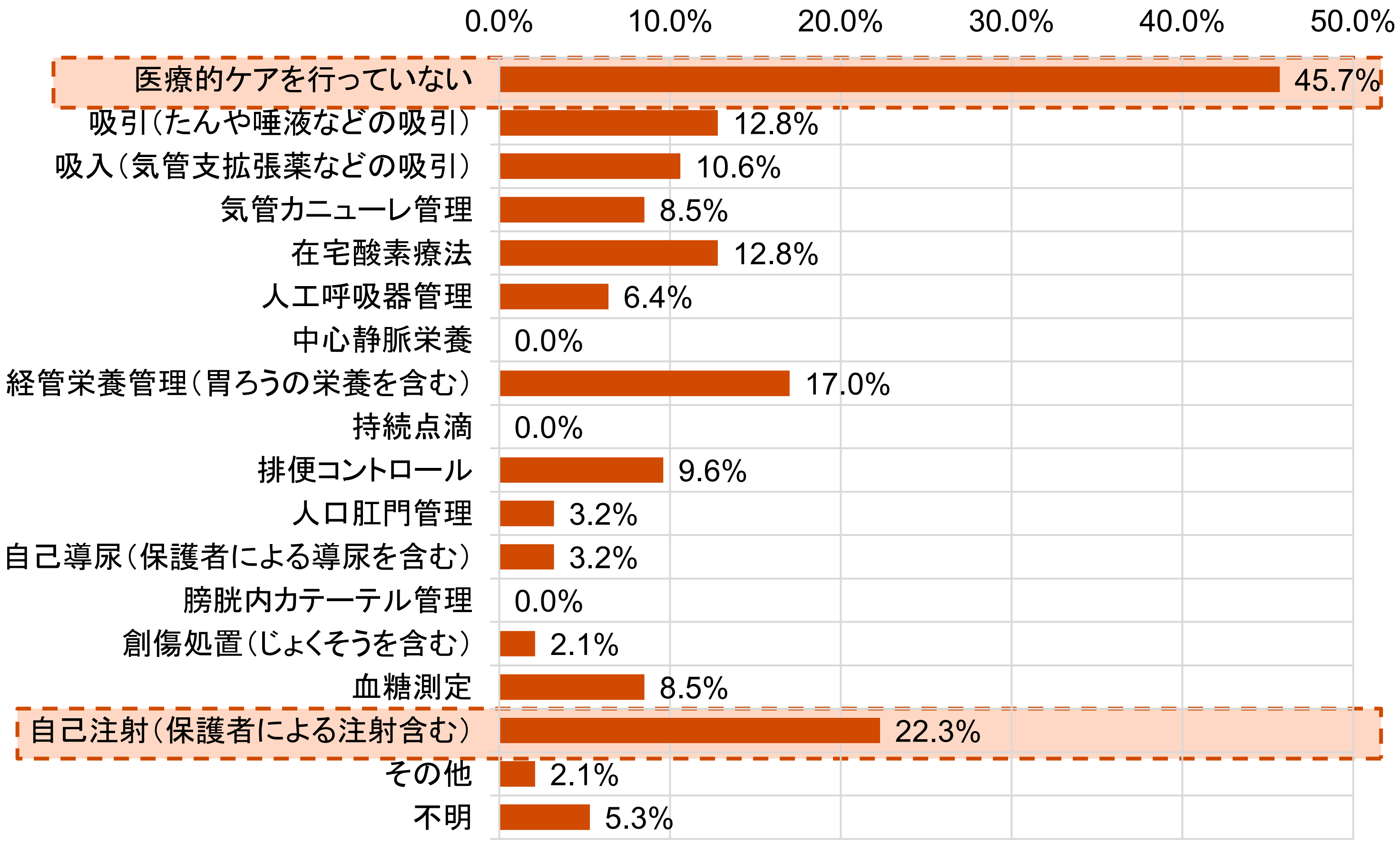
問6.お子さまが、現在、在籍している保育・教育施設等をお答えください（n=94、単一回答）



2.【基礎情報】医療的ケアの有無

- 医療的ケアを行っているのは、54.3%（「自己注射」を医療的ケアに含まない場合は32%）であり、「医療的ケアを行っていない」の45.7%の回答が最も多く、次いで「自己注射」が22.3%と多くなっています。

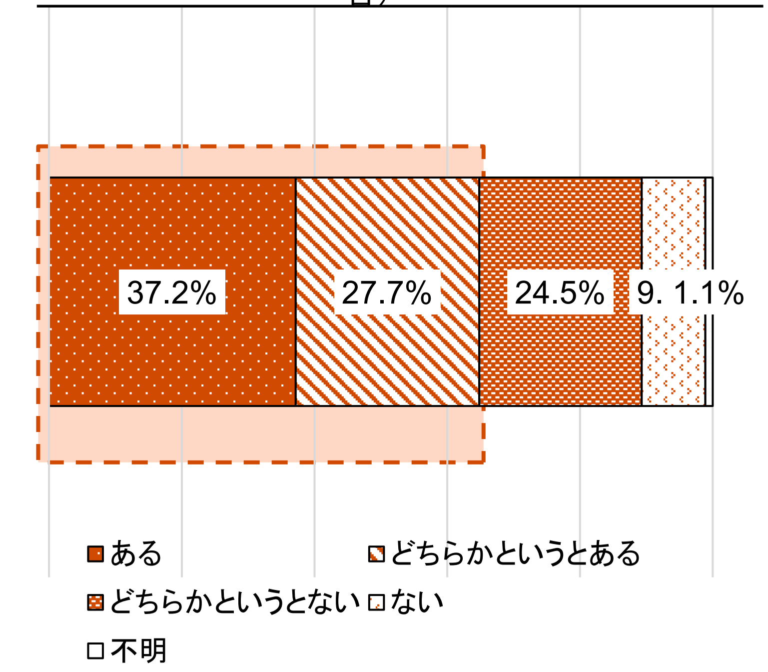
問10.次のうち、お子さまが、家庭で行って（受けて）いる
医療的ケアをお答えください。（n=94、複数回答）



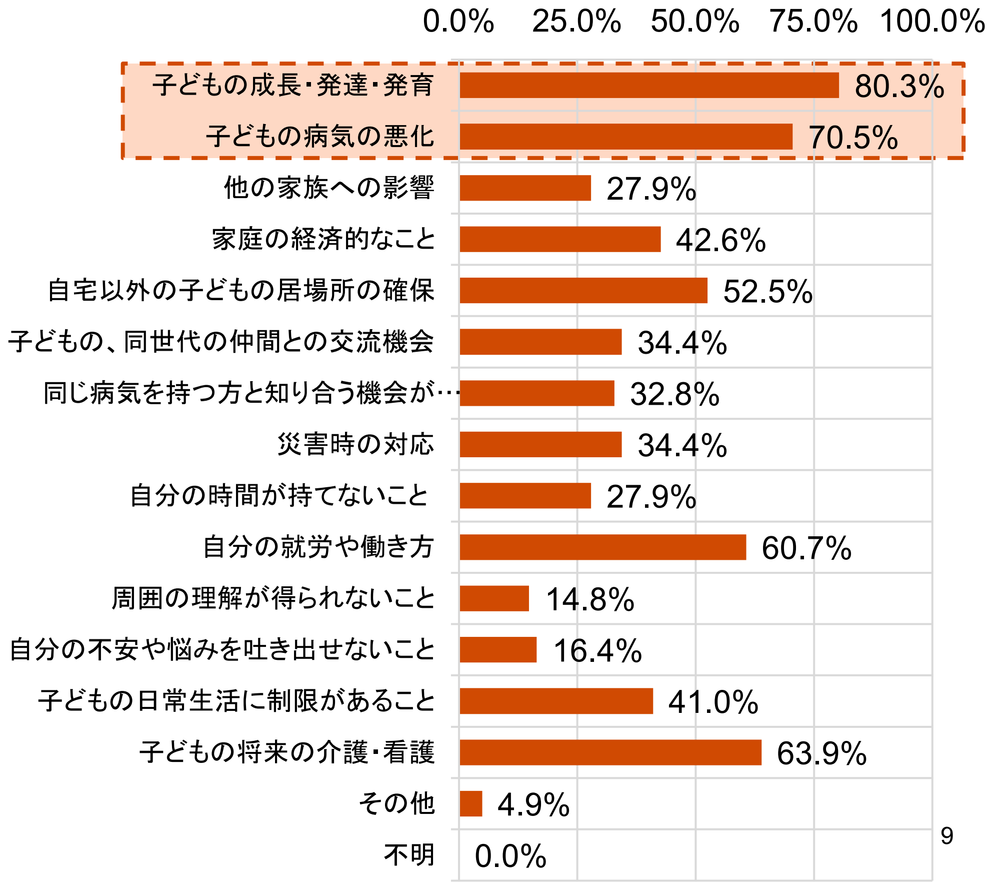
3.【不安や悩み】生活の不安や悩みの有無

- 在宅の生活における不安や悩みが、「ある」が37.2%と最も多く、次いで「どちらかというとある」が27.7%と多くなっています。
- 不安や悩みとして、「子どもの成長・発育・発達」が80.3%と最も多く、次いで「子どもの病気の悪化」が70.5%と多くなっています。
- 「経済的なこと」「交流機会」「災害時の対応」「悩みを吐き出せないこと」以外は昨年度より回答率が増えています、

問12.あなたはお子さまの在宅での生活を支えることに不安や悩みを感じることはありますか。(n=94、単一回答)



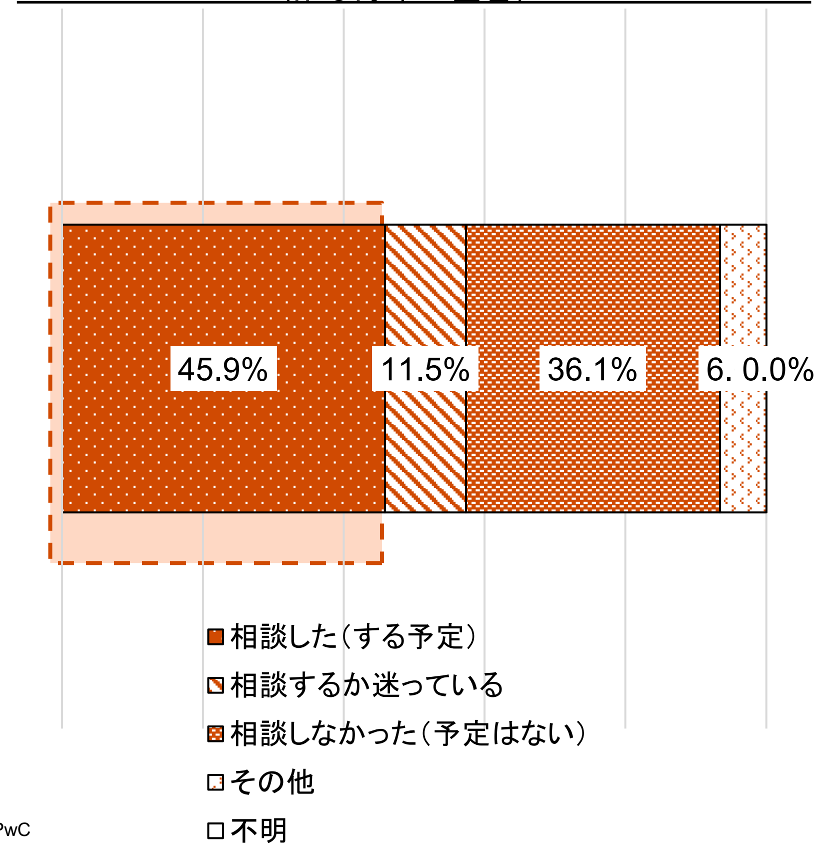
問13.あなたの不安や悩みについてあてはまることをお答えください。(n=61、複数回答)



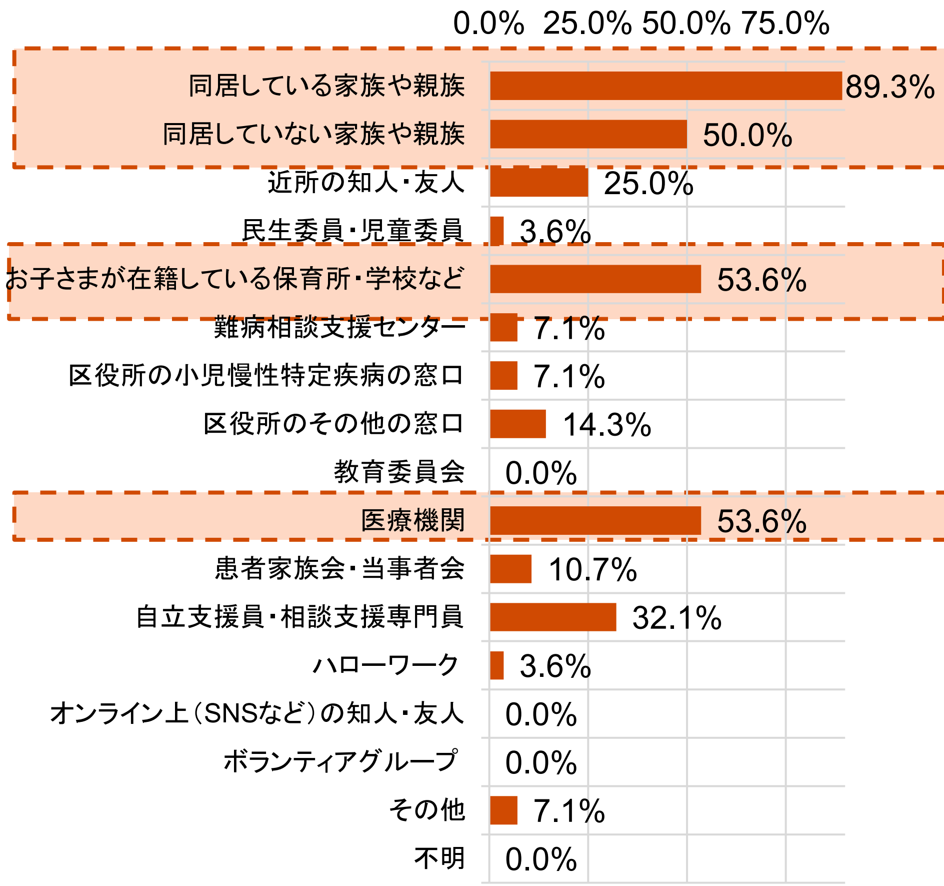
4 【相談】不安や悩みの相談有無

- 不安や悩みを「相談した/相談する予定」は45.9%と最も多く、「同居している家族や親族」「在籍している保育所・学校」「医療機関」が相談先として多くなっています。
- 相談先として「自立支援員・相談支援員」と回答した人は昨年度と比較すると11.3ポイント増えています。

問14.（不安や悩みがある人のうち）
不安や悩みについて相談しましたか。
（n=61、単一回答）



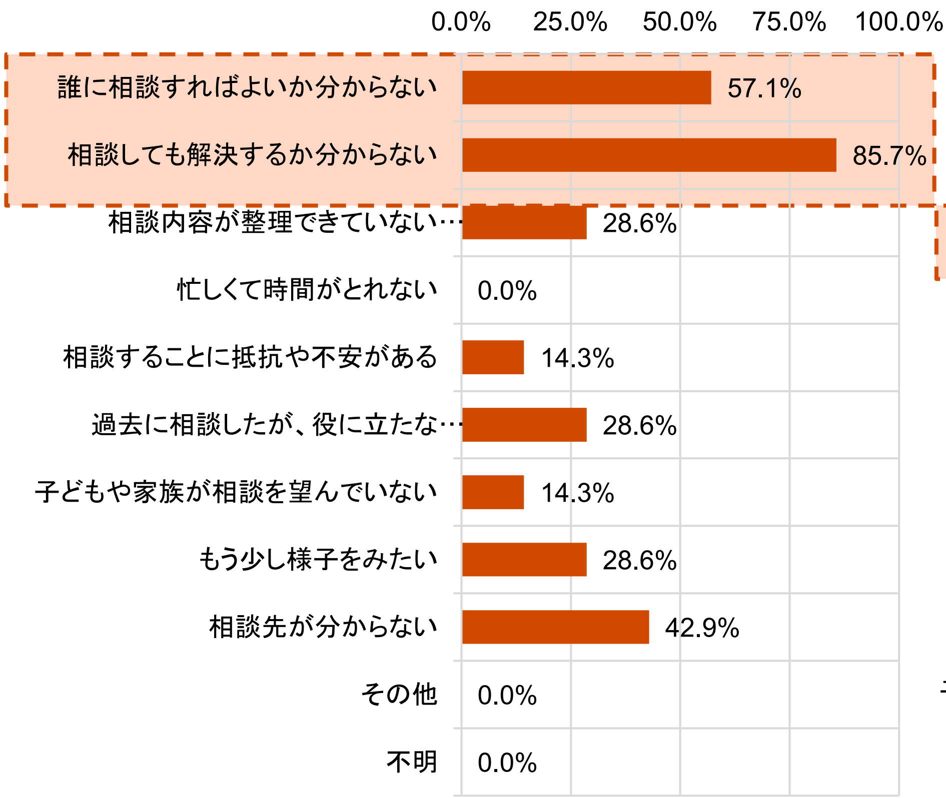
問15.誰に相談しましたか（相談する予定ですか）。
（n=28、複数回答）



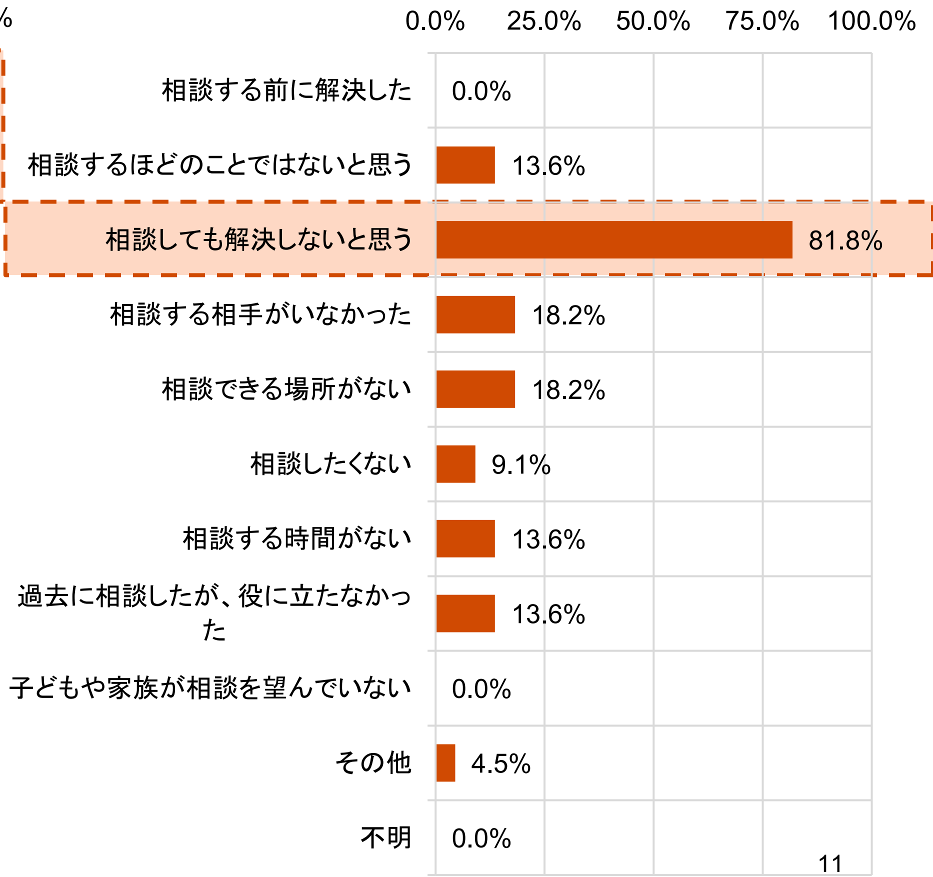
5.【相談】相談を迷っている理由

- 相談を迷っている理由としては、「相談しても解決できるか分からない」が85.7%と最も多く、次いで「誰に相談すればよいか分からない」が57.1%と多くなっています。
- 相談しなかった理由としては、「相談しても解決しないと思う」が81.8%と最も多くなっています。

問16.迷っている理由としてあてはまるものをお答えください。（n=7、複数回答）



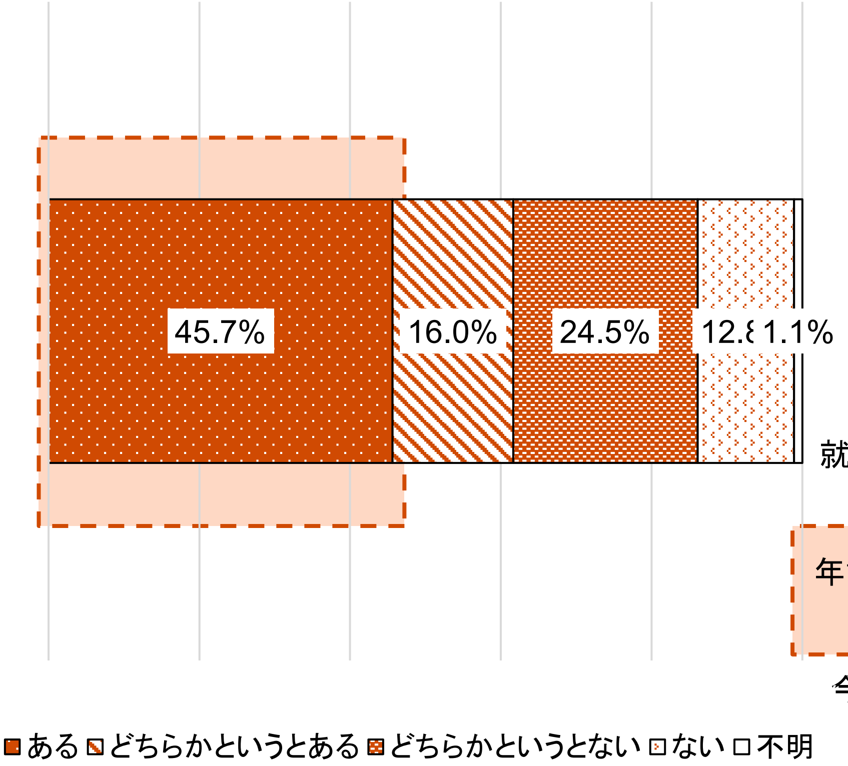
問17.相談しなかった（する予定がない）理由としてあてはまるものをお答えください（n=22、複数回答）



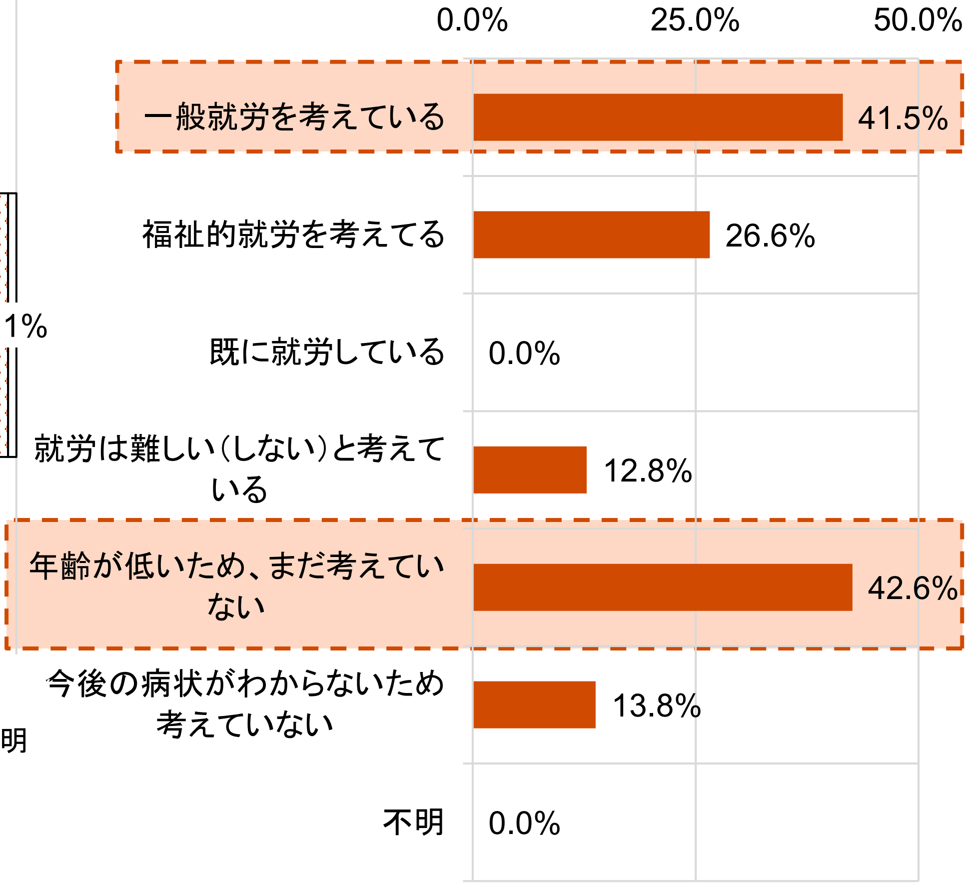
6.【不安や悩み】就労の不安や悩み

- 就労の不安や悩みが「ある」が45.7%と最も多く、就労について「年齢が低いため、まだ考えていない」が42.6%と多く、次いで「一般就労」が41.5%と多くなっています。
- 就労に悩んでいる方の割合やその傾向に昨年度と比較して大きな変化はありませんでした。

問25.お子さまの就労について、不安や悩みはありますか。（n=94、単一回答）



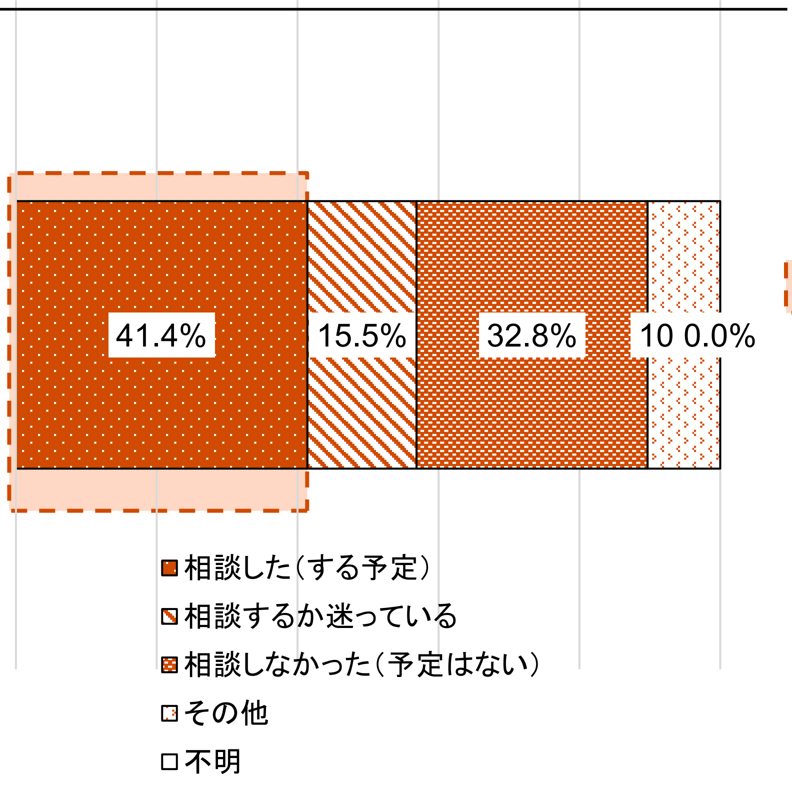
問24.あなたは、お子さまの就労について、どのように考えていますか。（n=94、複数回答）



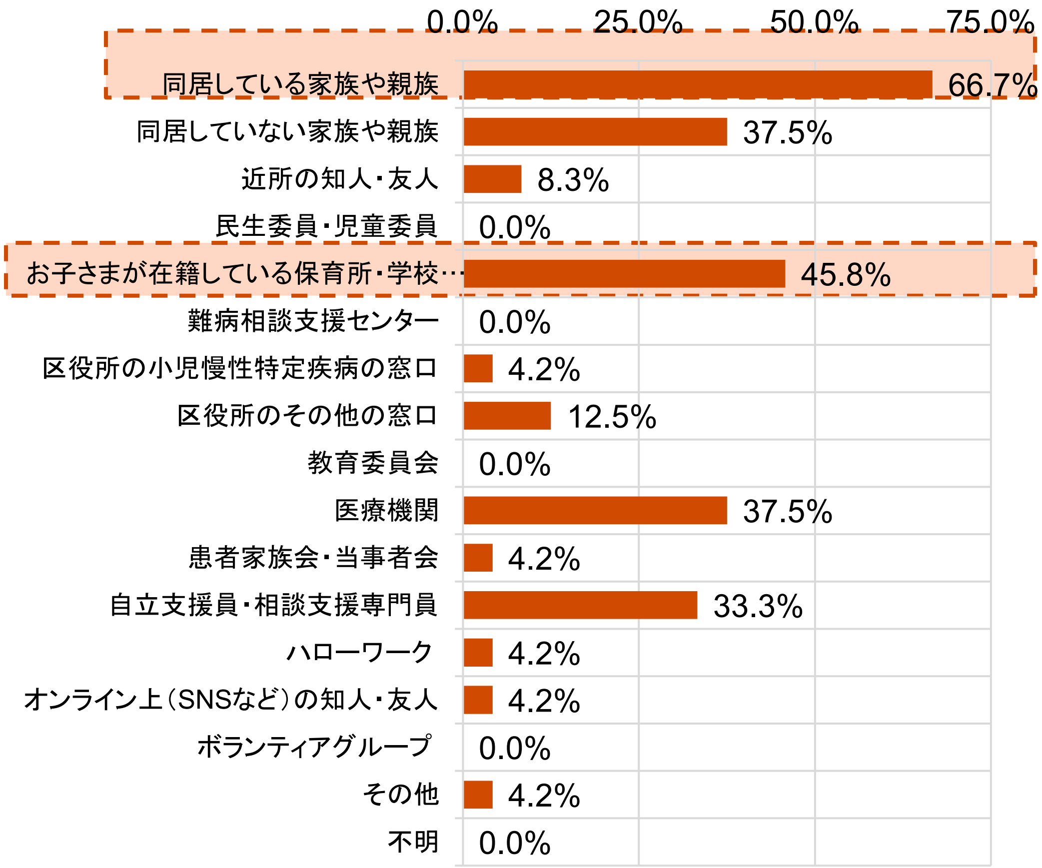
7.【不安や悩み】就労の不安や悩みの相談有無

- 就労における不安や悩みについて、「相談した（する予定）」が41.4%と最も多く、相談した（する予定）の人のうち、相談相手は「同居している家族や親族」が66.7%と多く、次いで「在籍している所・学校」が45.8%なっています。

問27.（就労について不安がある方のうち）
不安や悩みについて相談をしましたか。（n=58、単一回答）



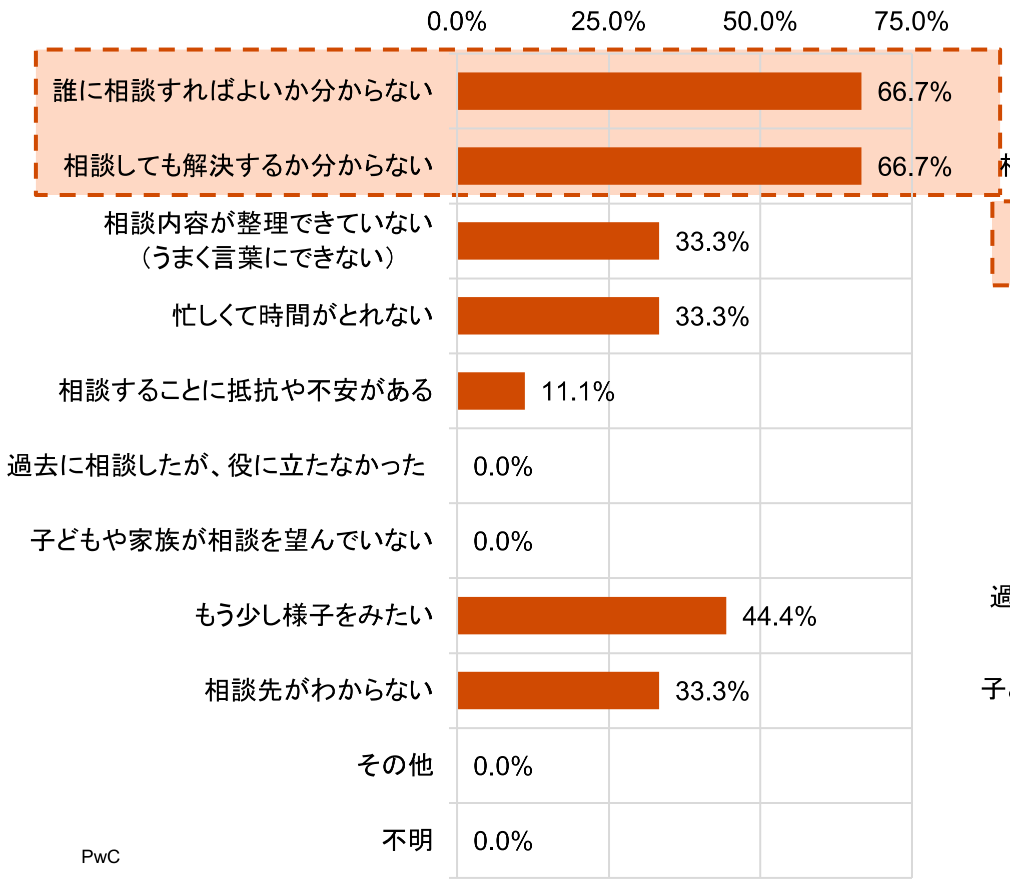
問28.誰に相談しましたか（相談する予定ですか）。（n=24、複数回答）



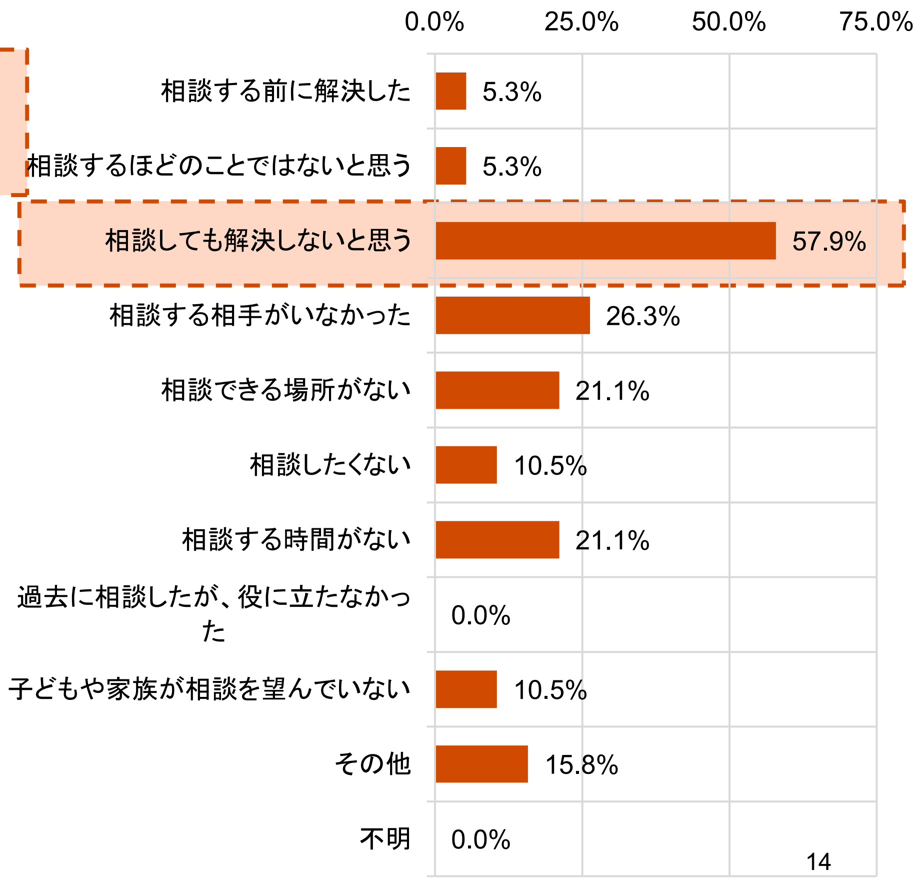
8．【不安や悩み】就労の相談を迷っている・していない理由

- 就労に不安があるが相談を迷っている人のうち、迷っている理由は「誰に相談すればよいかわからない」「相談しても解決するかわからない」が最も多くなっています。
- 就労に不安があるが相談をしていない人のうち、相談をしていない理由は「相談しても解決しないと思う」が57.9%と最もなっています。

問29.迷っている理由としてあてはまるものをお答えください。（n=9、複数回答）



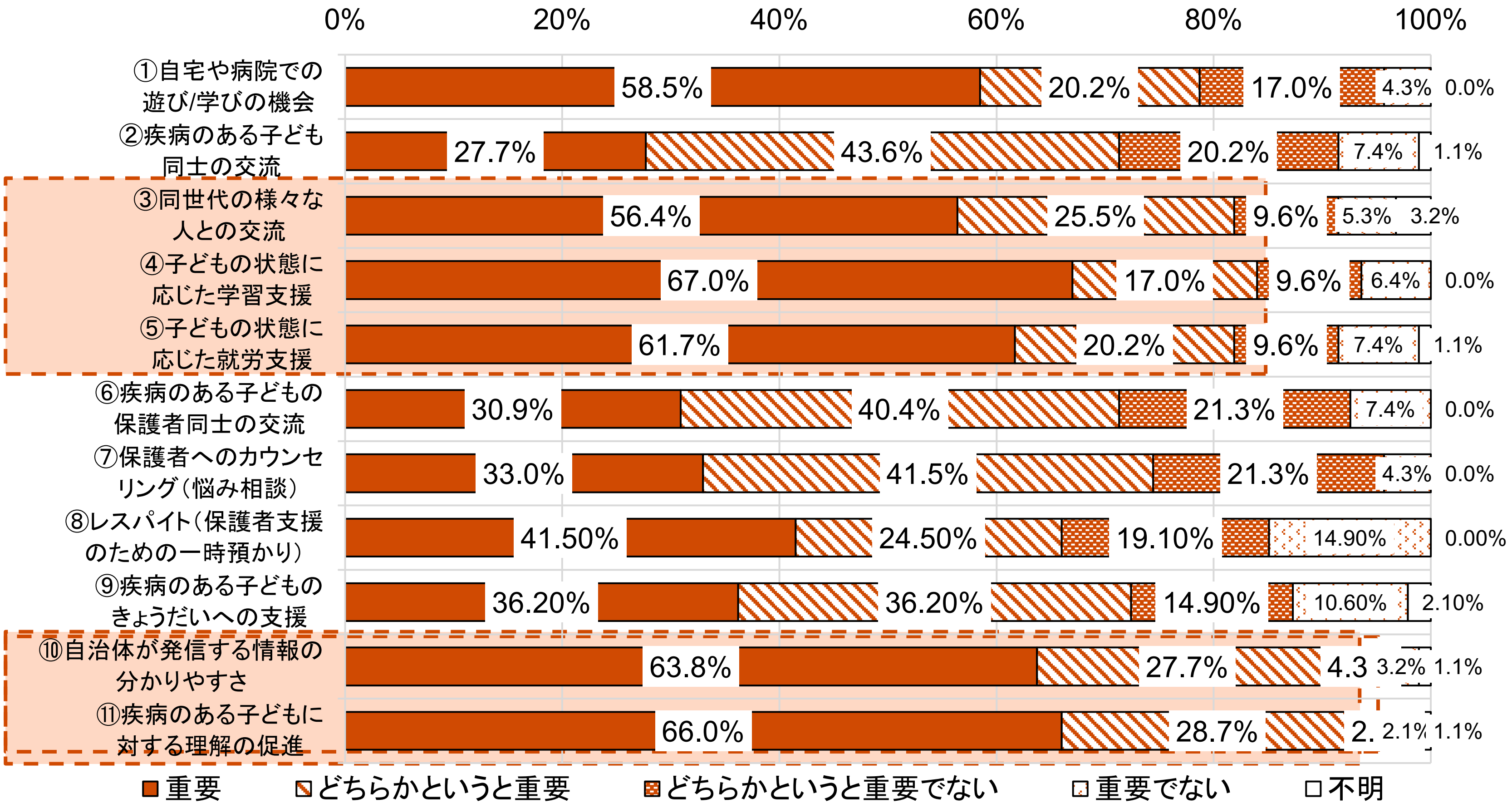
問30.相談しなかった（する予定がない）理由としてあてはまるものをお答えください（n=19、複数回答）



9．【不安や悩み】自立のために必要なこと

- 自立のために必要なこととして、「疾病のある子どもに対する理解促進」が94.7%と最も多く、次いで「自治体が発信する情報のわかりやすさ」が91.5%と多くなっています。
- 「同世代交流」「学習支援」「就労支援」についても、昨年度と同じ傾向がありました。

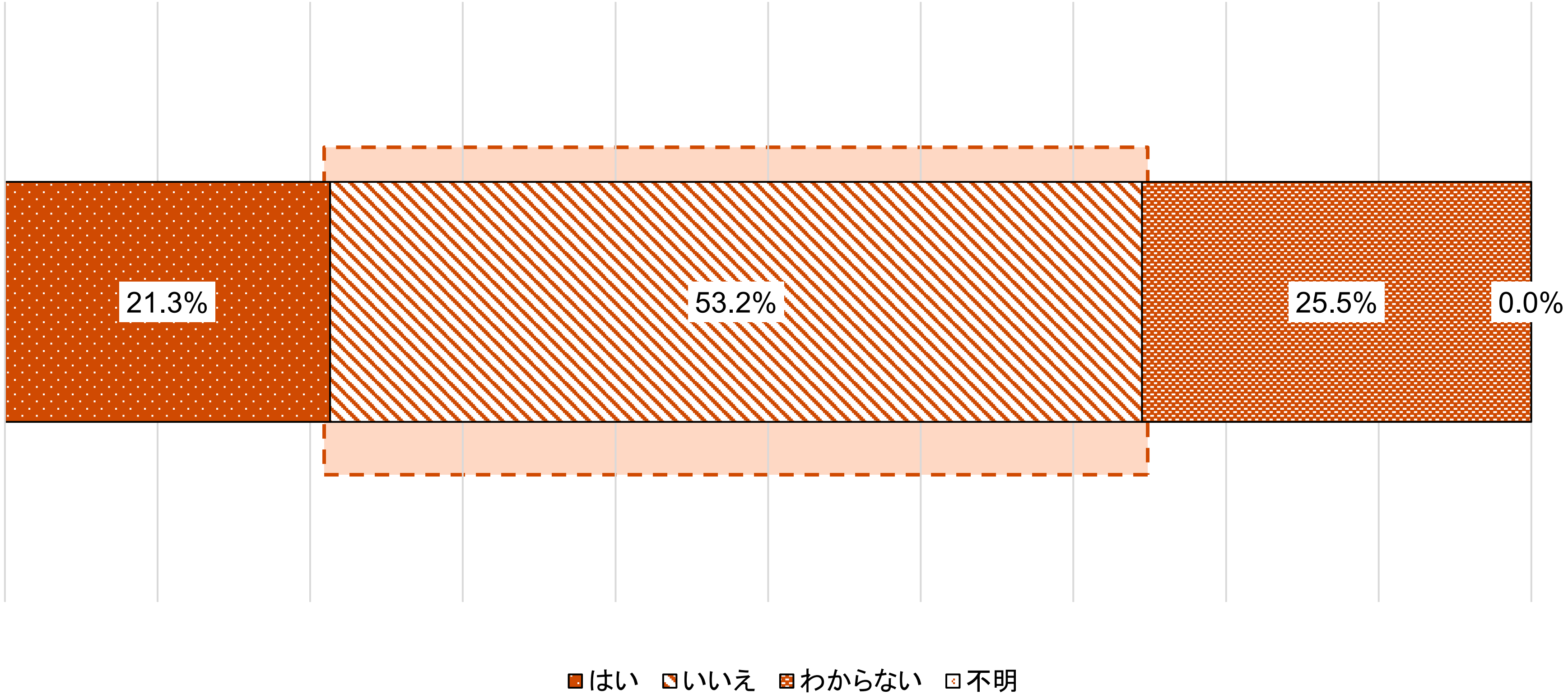
問35.お子さまの成長や自立のために現時点で必要なことについて、
あなたにとっての重要度をお答えください。（n=94，単一回答）



10.【支援の活用】自立支援事業の認知

- 自立支援事業を「知らない」と回答した人が53.2%と最も多くなっています

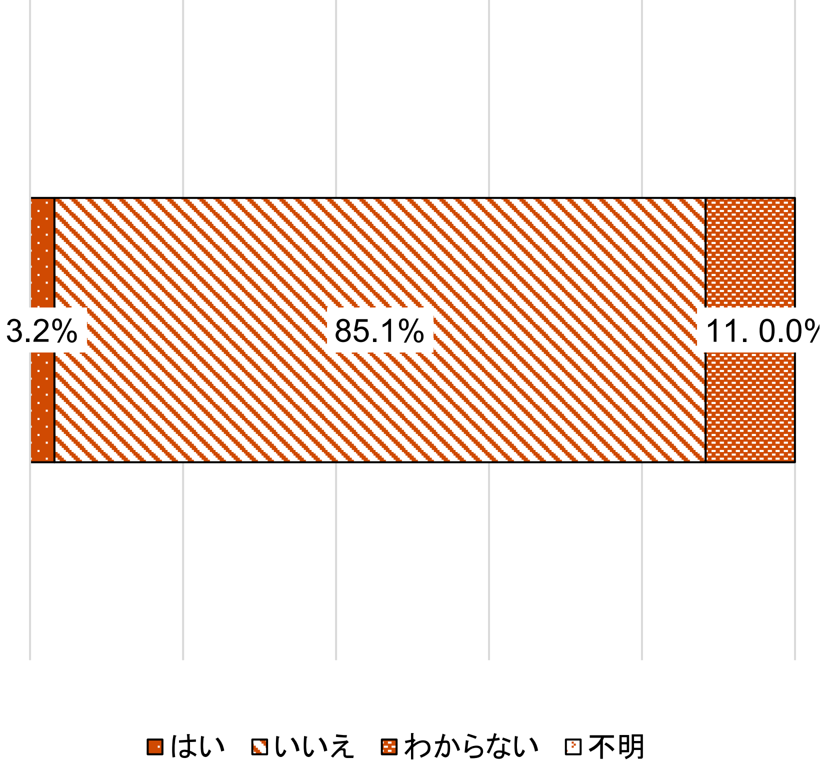
問31.現在、熊本市では自立支援事業（ピアカウンセリング等の「相談支援」や「小児慢性特定疾病に罹患している子どもやその家族への支援」など）を実施していますが、ご存知ですか。（n=94、単一回答）



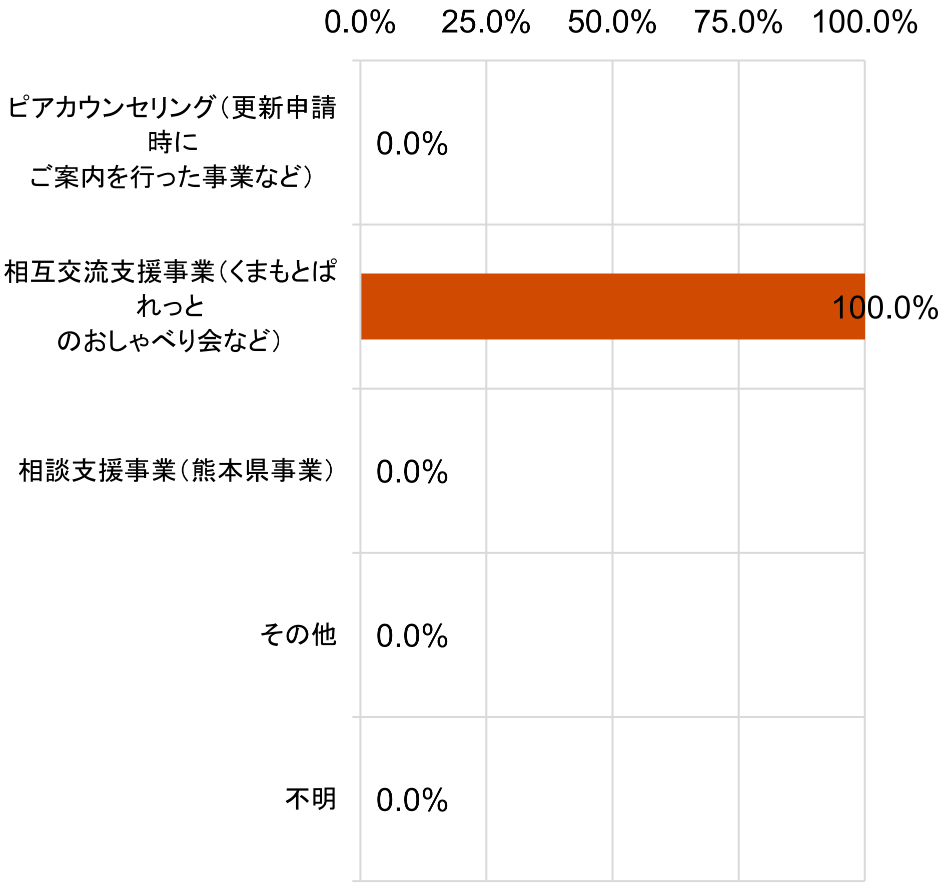
11.【支援の活用】自立支援事業への参加有無

- 自立支援事業に「参加していない」が85.1%と最も多くなっています。
- 「参加したことがある」人は、相互交流支援事業に参加しています。

問32.熊本市が実施している自立支援事業に参加したことはありますか。(n=94、単一回答)

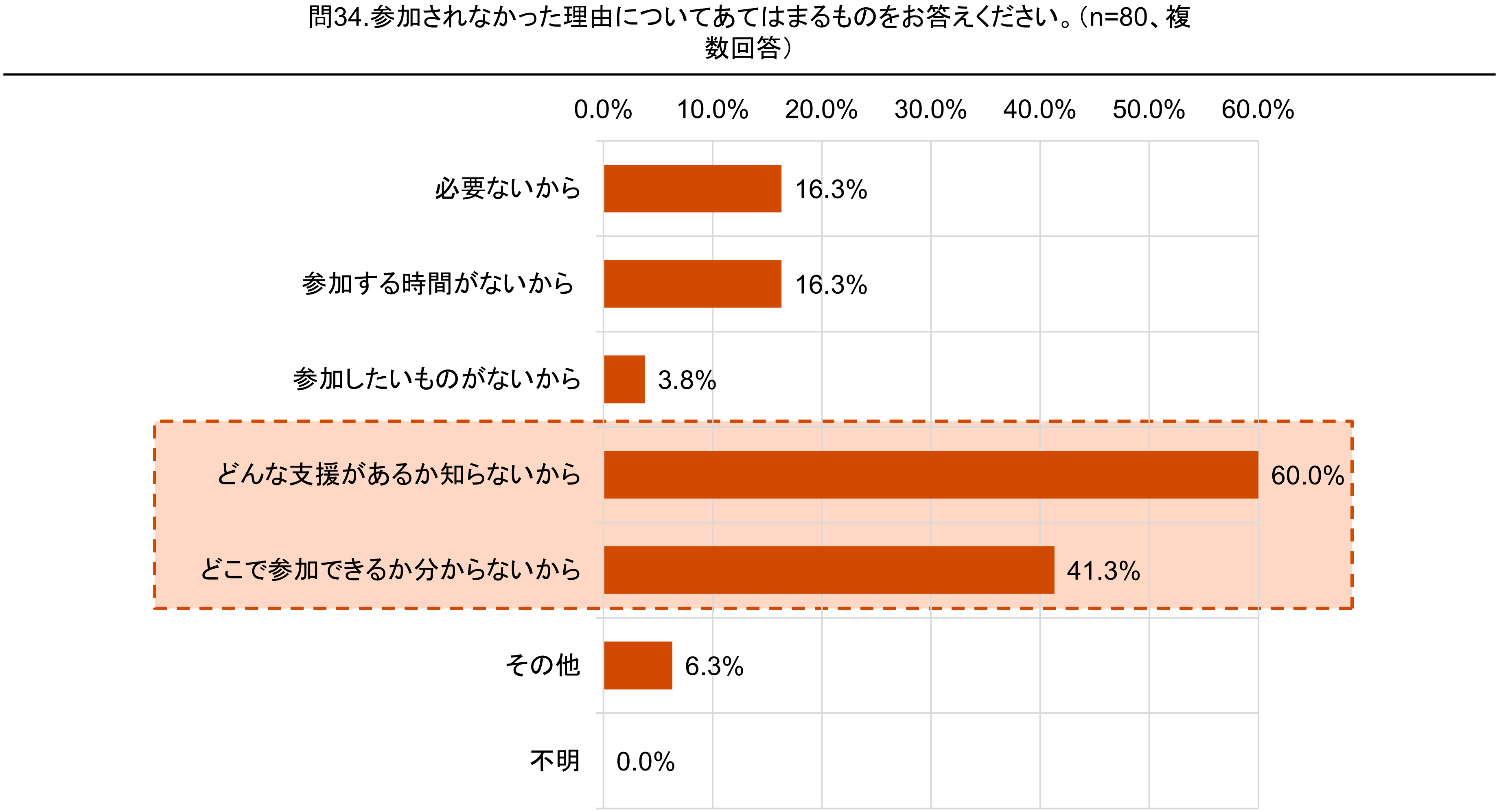


問33.どの事業に参加されましたか。(n=3、複数回答)



12.【支援の活用】自立支援事業に参加していない理由

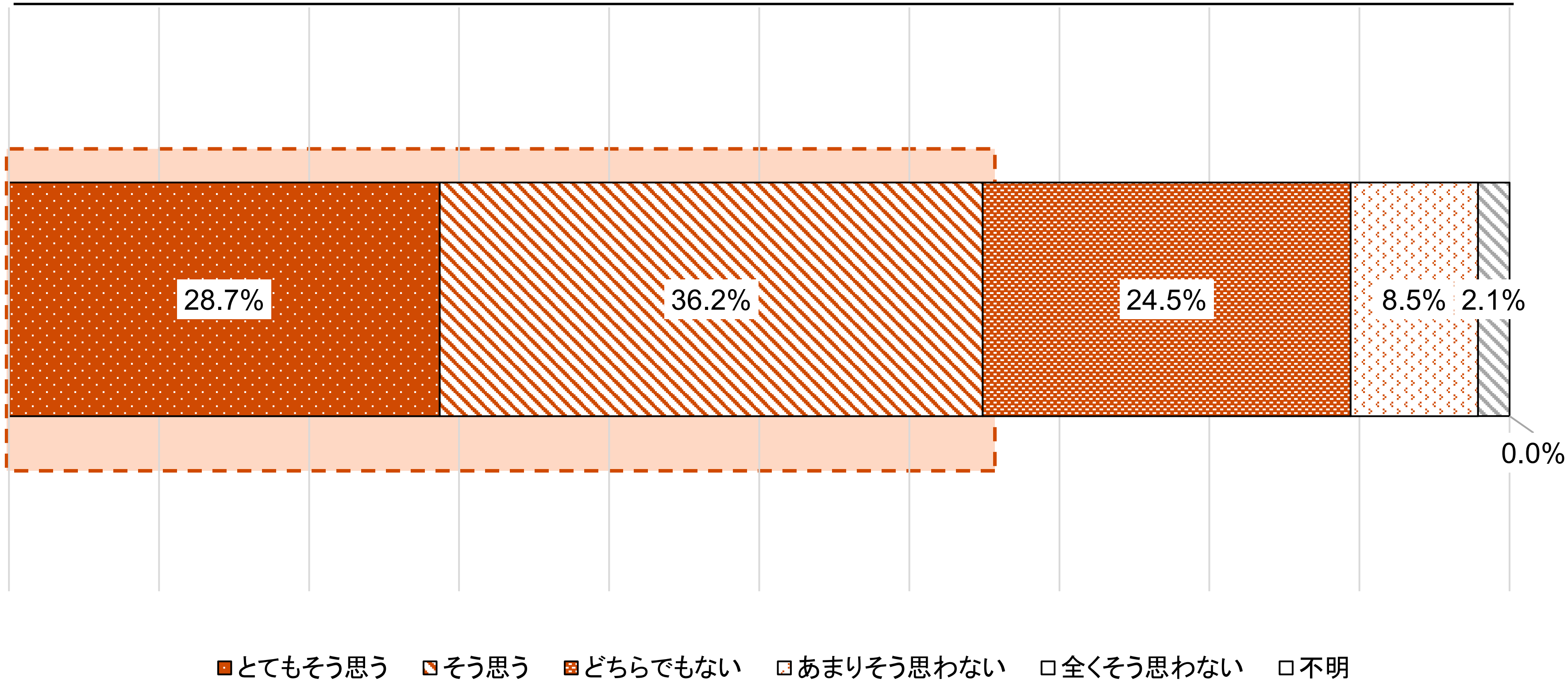
- 自立支援事業に参加していない理由として、「どんな支援があるか知らないから」が60.0%と最も多く、次いで「どこで参加できるか分からないから」が41.3%と多くなっています。



13.【相談】相談窓口を利用したいと思うか

- 相談窓口を利用したいと思えるかについて、「そう思う」が36.2%と最も多く、次いで「とてもそう思う」が28.7%と多くなっています。
- 「とてもそう思う」「そう思う」の割合は、昨年度と比較すると差はありませんでした。

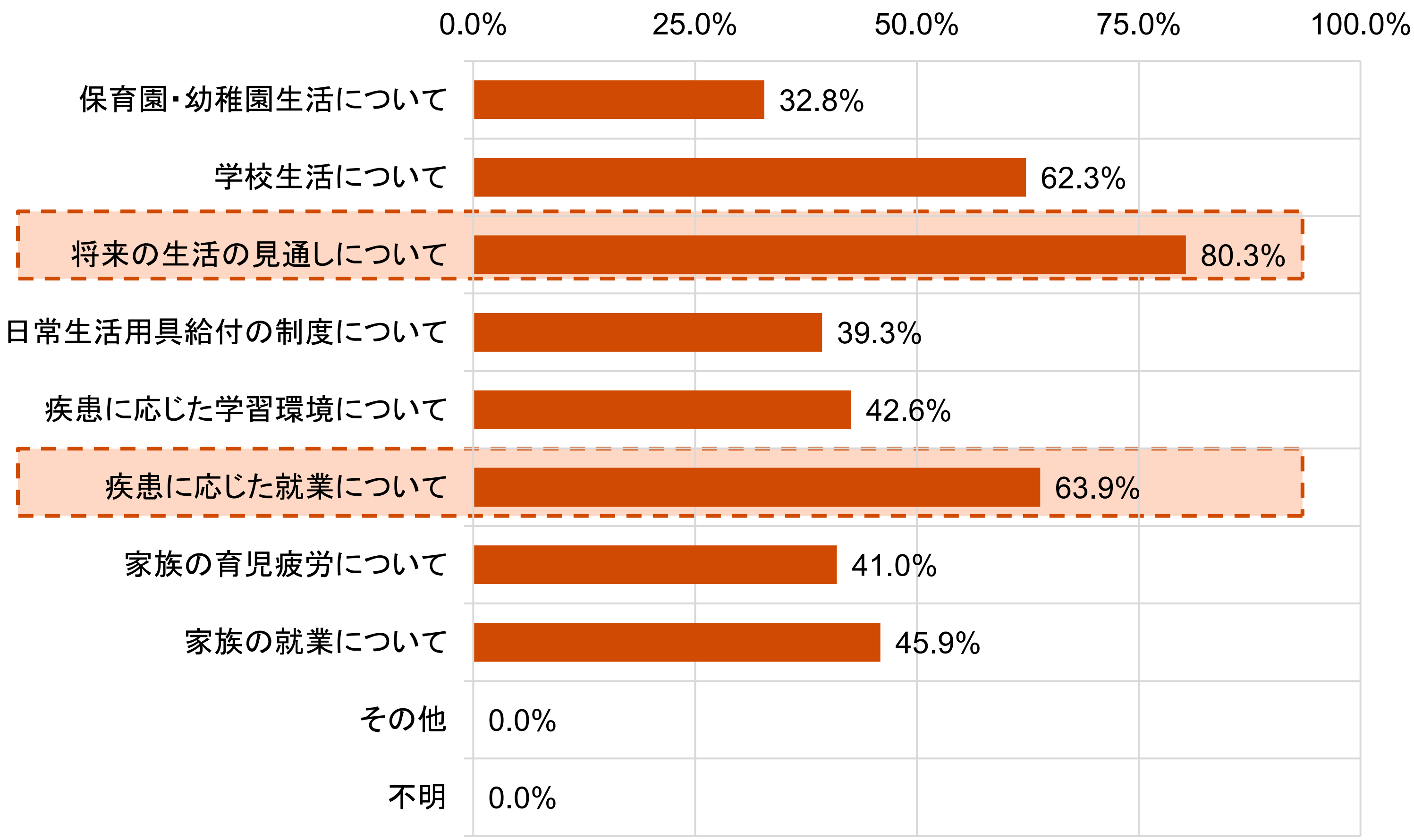
問36.お子さまの生活全般に関する専用の相談窓口が開設された場合、利用したいと思いますか。（n=94、単一回答）



14.【相談】相談したい内容

- 相談窓口を利用したいと答えた人のうち、相談したい内容について、「将来の生活の見通しについて」が80.3%と最も多く、次いで「疾患に応じた就業について」が63.9%と多くなっています。
- 昨年度と比較すると、相談内容には大きな変化はありませんでした。

問37.どのような内容を相談したいですか。（n=61、複数回答）



3

保護者向け調査のクロス集計結果 まとめ

1．クロス集計項目

- 熊本市における保護者のニーズを明らかにするため、以下の意図のもとクロス集計を実施いたしました。

項目	クロス集計の軸	クロス実施の意図
自立に必要なこと	• 問10医療的ケアの有無×問32自立に必要なこと	• 医療的ケアの有無による、努力義務事業の実施につなげられるような保護者のニーズを明らかにする
相談していない人の悩み	• 問14・選択肢２「相談するか迷っている」×問13悩み事	• 障害の有無による、努力義務事業の実施につなげられるような保護者のニーズを明らかにする
	• 問17・選択肢１「解決した」以外「いない」×問13悩み事	• 自立支援事業を知っているが、支援を活用していない人のニーズを明らかにする
	• 問20「相談するか迷っている」×問18「不安がある」「どちらかというと不安がある」	• 医療的ケありや障害ありと回答した方の不安有無、それ以外の方の不安有無を明らかにする
	• 問23・選択肢１「解決した」以外×問18「不安がある」「どちらかというと不安がある」	• 医療的ケアの有無による、災害時の不安内容を明らかにし、支援内容のニーズを明らかにする
医療的ケア有無ごとの悩み	• 問10医療的ケアの有無×問13不安や悩み	• 障害の有無による、災害時の不安内容を明らかにし、支援内容のニーズを明らかにする

2. クロス集計結果概要

- 熊本市にて実施された保護者向け実態把握調査のクロス集計の結果を整理しています。

単純集計の結果(全体の傾向)	
自立に必要なこと	• 医療的ケアあり：自立のために必要なこととして、「疾病のある子どもに対する理解促進」が94.4%と最も多く、次いで「自治体が発信する情報のわかりやすさ」が94.3%と多くなっています。 • 医療的ケアなし：自立のために必要なこととして、「疾病のある子どもに対する理解促進」が96.3%と最も多く、次いで「自治体が発信する情報のわかりやすさ」が92.6 %と多くなっています。医療的ケアありと比較すると、各選択肢の「重要」の回答率が減少しています。
相談していない人の悩み	• 相談するか迷っている方の悩み事として、「子どもの成長・発達・発育」が85.7%と最も多く、次いで「自宅以外の子どもの居場所の確保」「子どもの将来の介護・看護」が71.4%と多くなっています。 • 不安や悩みを相談せず、かつ悩みが解決していない人の悩み事としては、「子どもの病気の悪化」が86.4%と最も多く、「子どもの成長・発達・発育」が77.3%となっています。
	• 学校や保育所等への活動における不安を相談するか迷っている人が、学校や保育所等での活動について不安に思っていることは、「学習面」「体力面」が90.9%と最も多くなっています。 • 学校や保育所等への活動における不安を相談していないが解決していない人が、学校や保育所等での活動について不安に思っていることは、「体力面」「精神面」が90.9%と最も多くなっています。
医療的ケア有無ごとの悩み	• 「子どもの病気の悪化」以外、医療的ケアありの人のほうが、不安や悩みの回答率が高くなっています。 • 両者とも「子どもの成長・発達・発育」に関する不安や悩みが多くなっています。

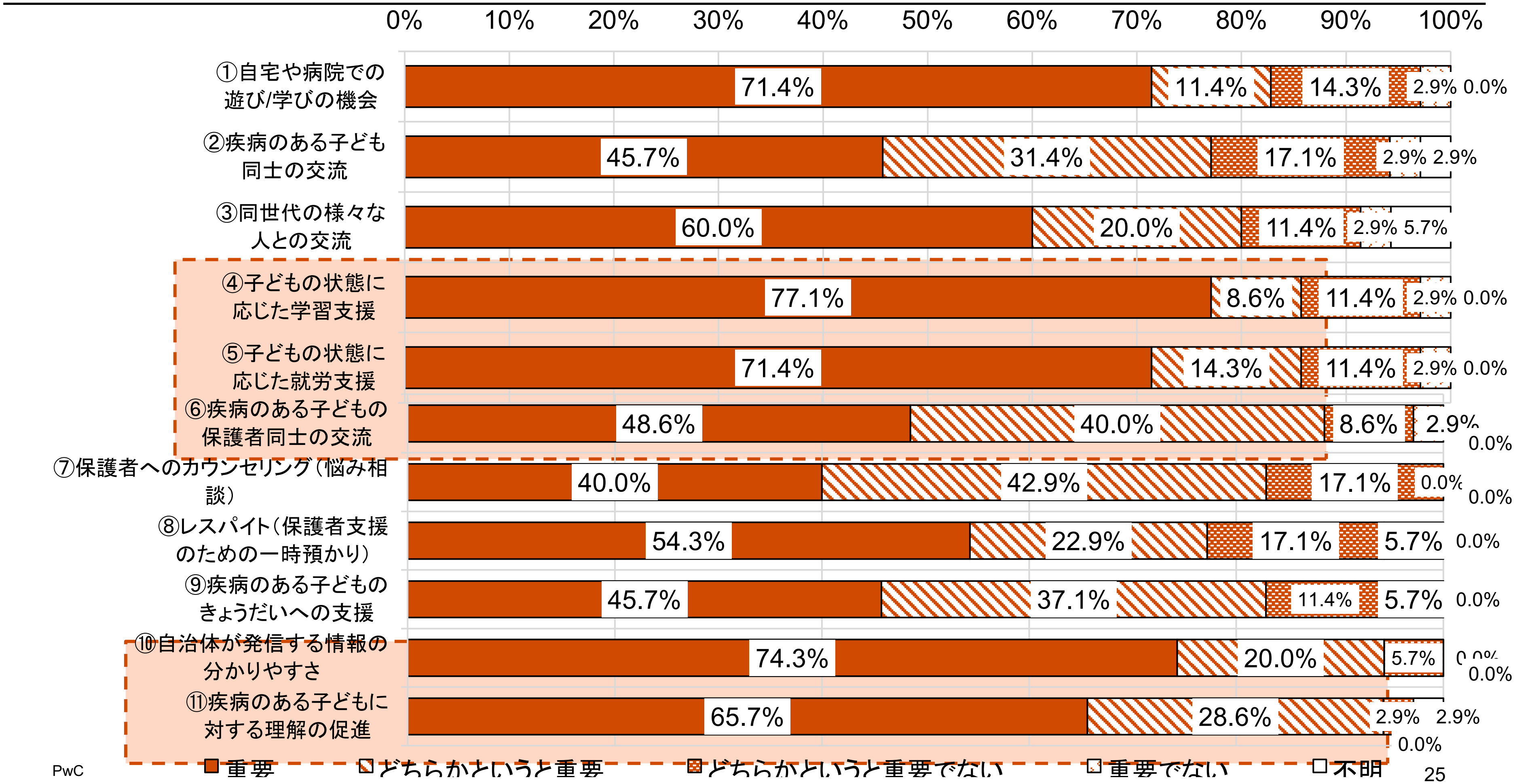
4

保護者向け調査のクロス集計結 資料

1-1．問10医療的ケアの有無×問32自立に必要なこと(医療的ケアあり)

- 自立のために必要なこととして、「疾病のある子どもに対する理解促進」が94.4%と最も多く、次いで「自治体が発信する情報のわかりやすさ」が94.3%と多くなっています。

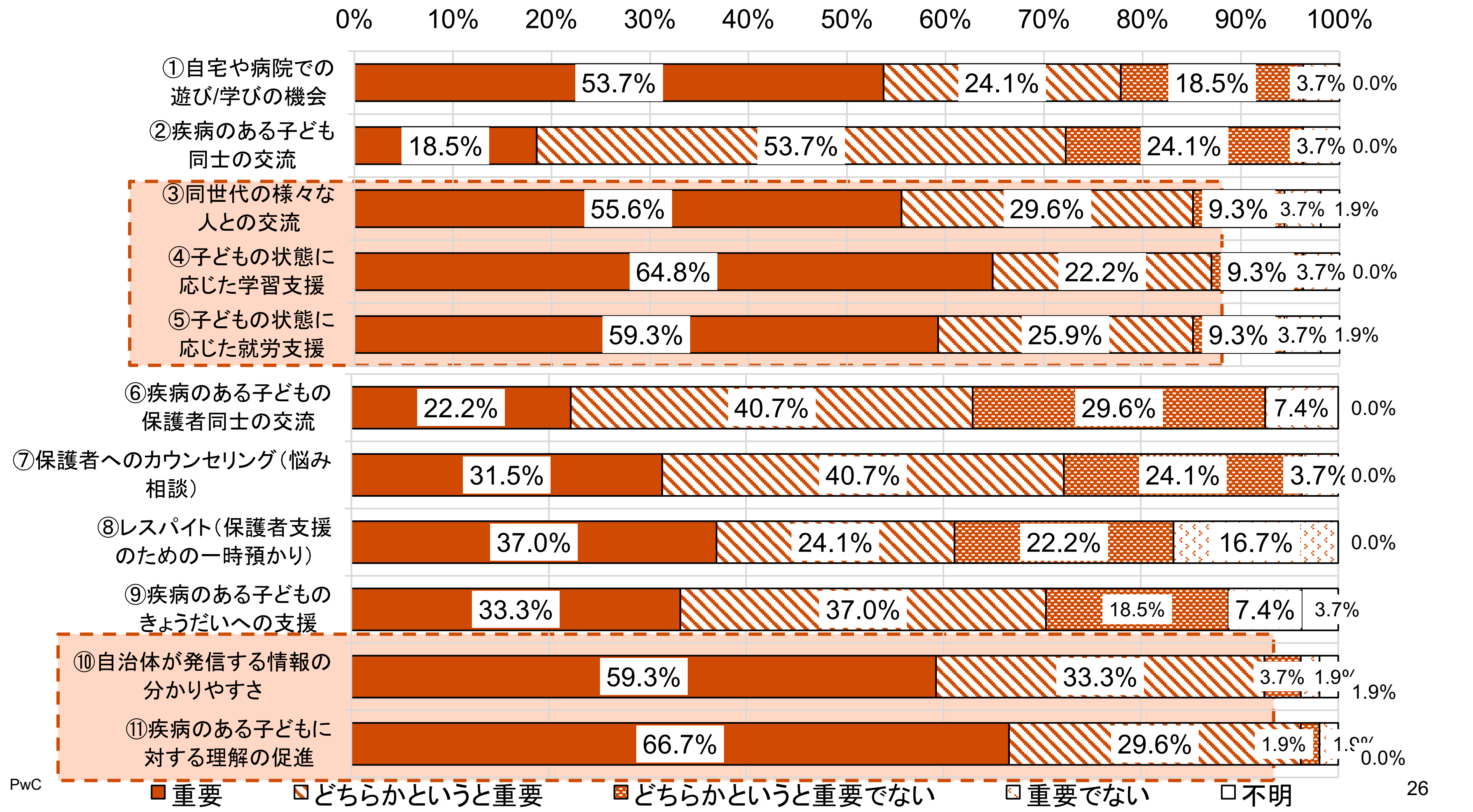
問35.お子さまの成長や自立のために現時点で必要なことについて、あなたにとっての重要度をお答えください。【医療的ケアあり】（n=35、単一回答）



1-2．問10医療的ケアの有無×問32自立に必要なこと(医療的ケアなし)

- 自立のために必要なこととして、「疾病のある子どもに対する理解促進」が96.3%と最も多く、次いで「自治体が発信する情報のわかりやすさ」が92.6 %と多くなっています。
- 医療的ケアありと比較すると、各選択肢の「重要」の回答率が減少しています。

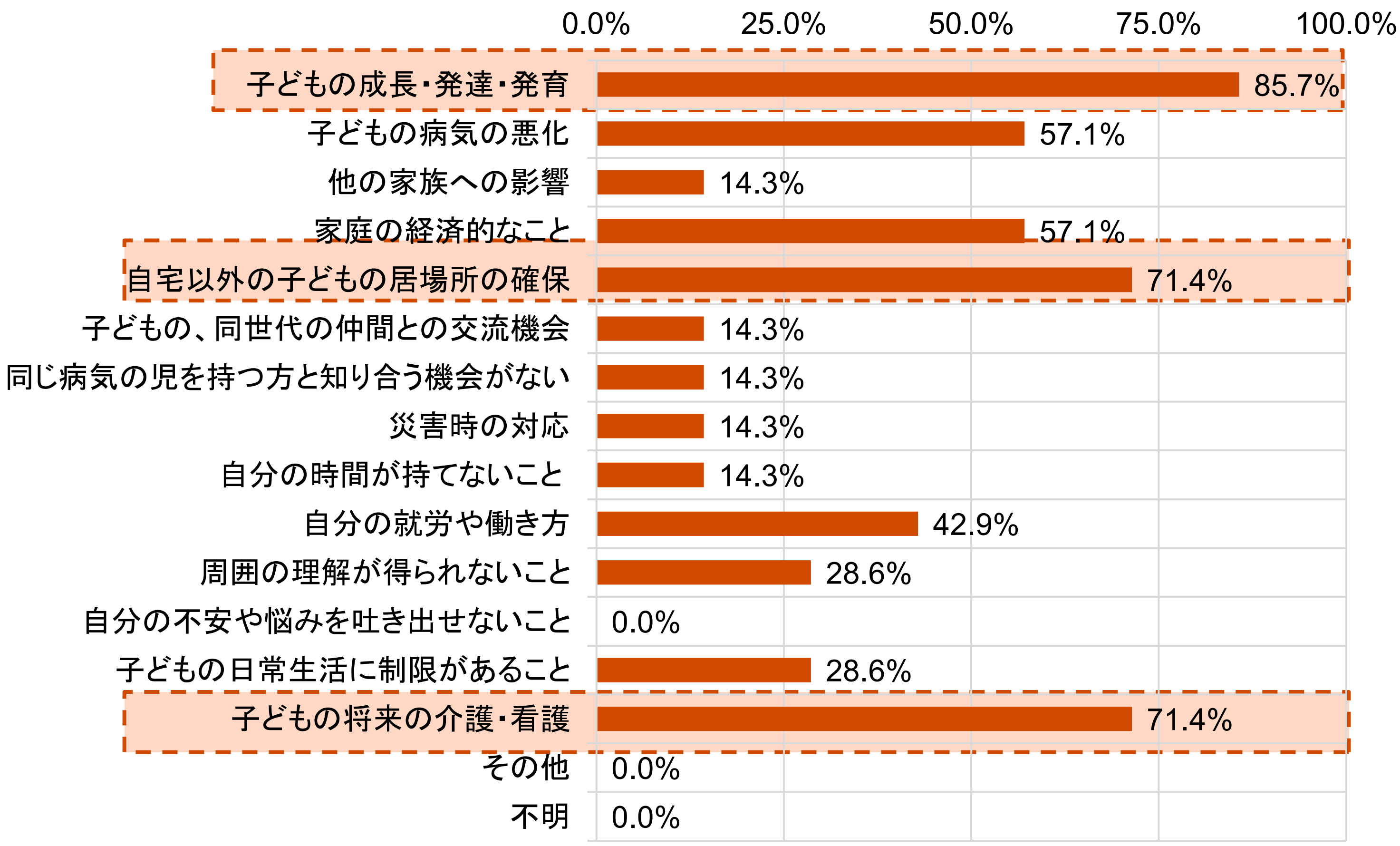
問35.お子さまの成長や自立のために現時点で必要なことについて、あなたにとっての重要度をお答えください。【医療的ケアなし】(n=54、単一回答)



2．問14「相談するか迷っている」×問13悩み事

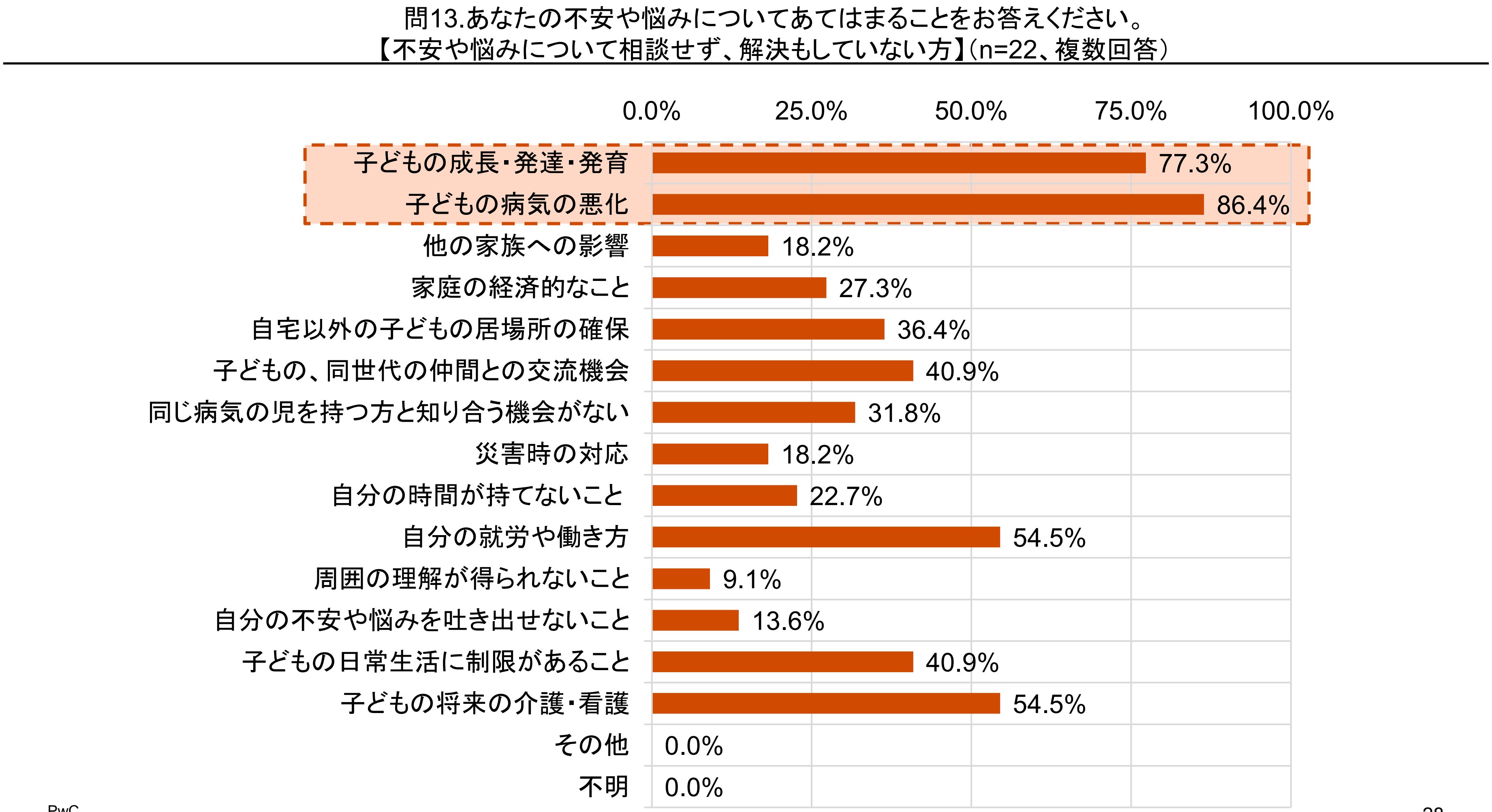
- 相談するか迷っている方の悩み事として、「子どもの成長・発達・発育」が85.7%と最も多く、次いで「自宅以外の子どもののの居場所の確保」「子どもの将来の介護・看護」が71.4%と多くなっています。

問13.あなたの不安や悩みについてあてはまることをお答えください。
【不安や悩みについて相談するか迷っている】（n=7、複数回答）



3．問17「相談しておらず、解決していない」×問13悩み事

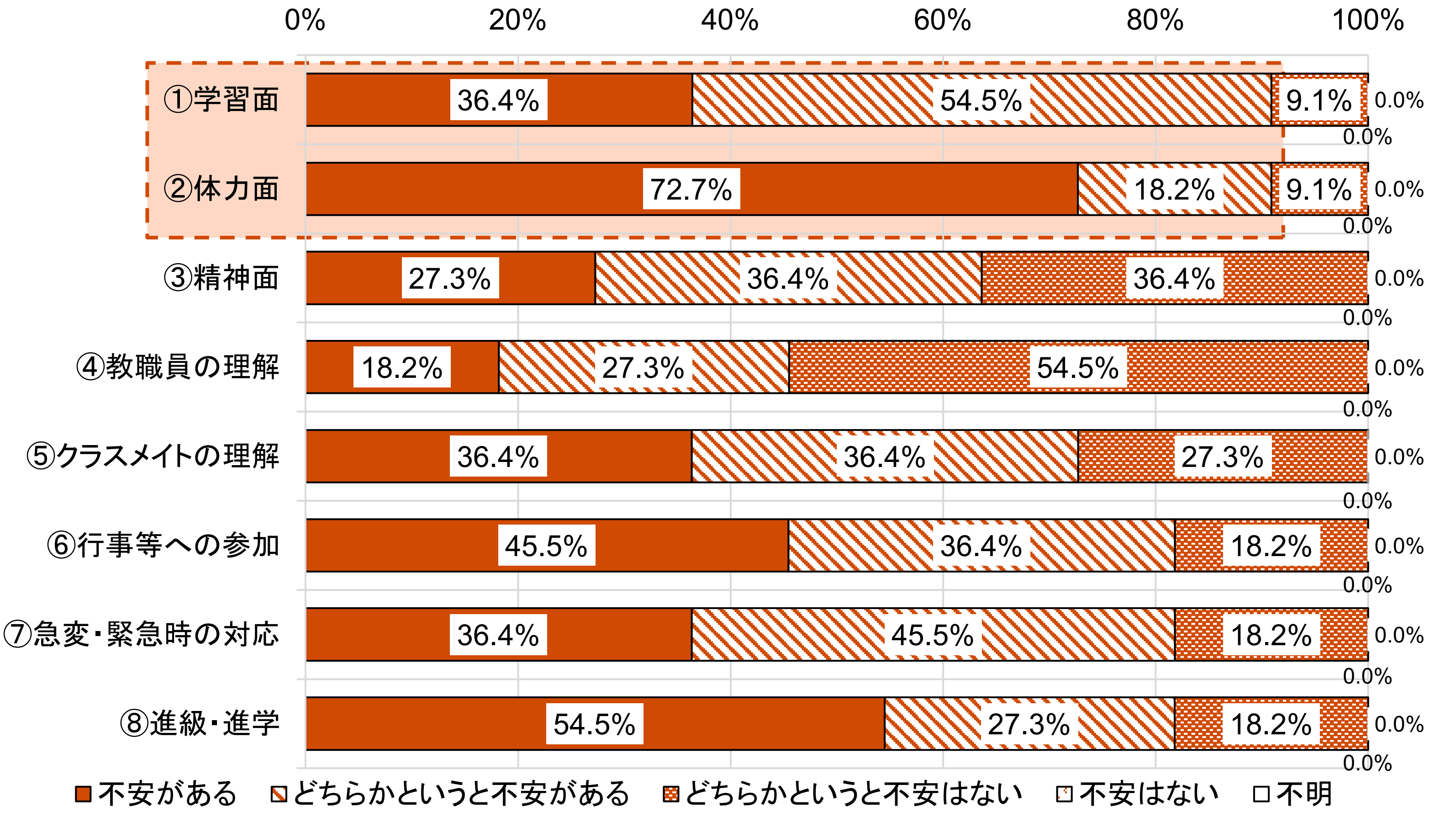
- 不安や悩みを相談せず、かつ悩みが解決していない人の悩み事としては、「子どもの病気の悪化」が86.4%と最も多く、「子どもの成長・発達・発育」が77.3%となっています。



4．問20「相談するか迷っている」×問18不安に思っていること

- 学校や保育所等での活動における不安を相談するか迷っている人が、学校や保育所等での活動について不安に思っていることは、「学習面」「体力面」が90.9%と最も多くなっています。

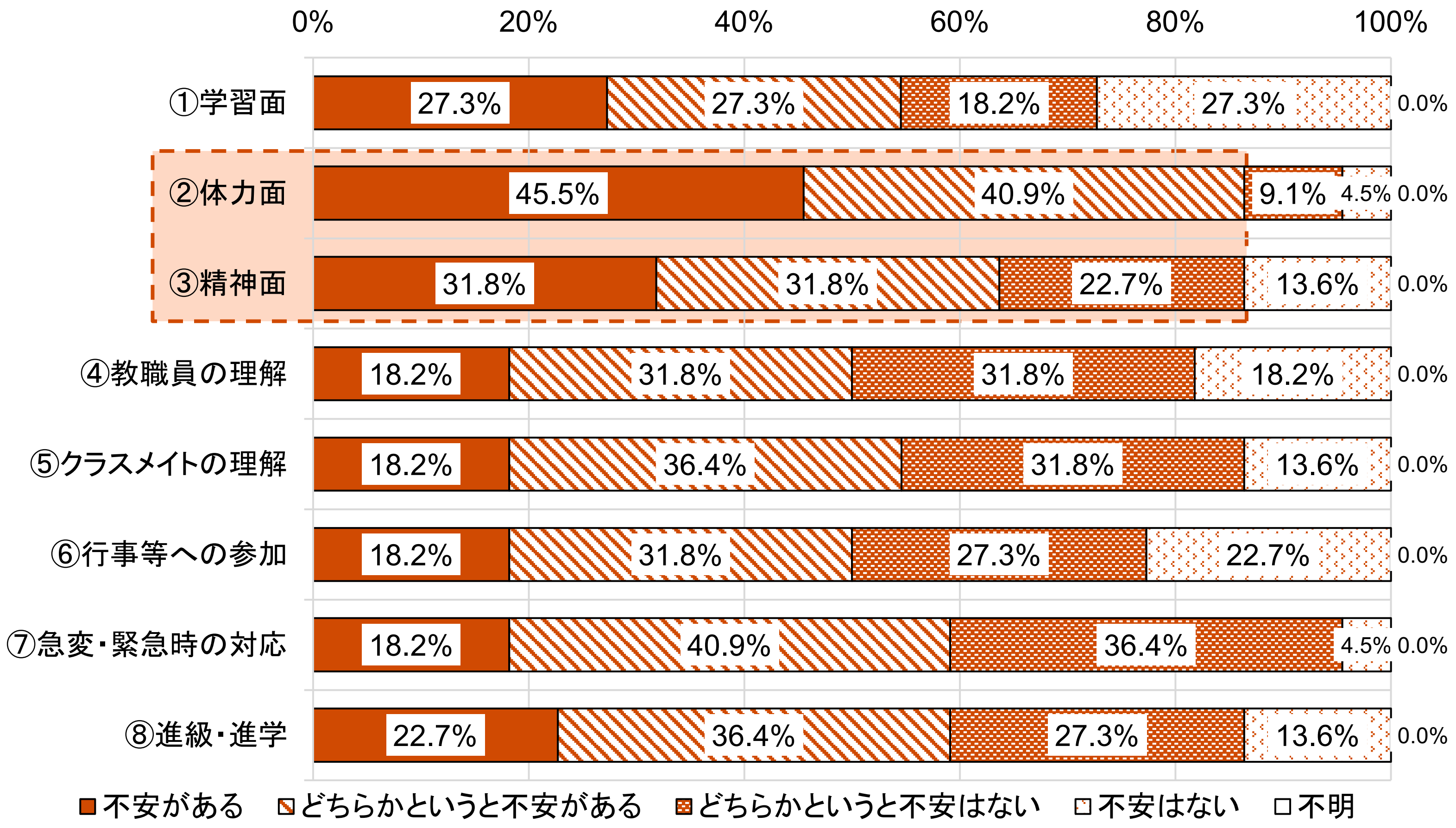
問18.お子さまの学校や保育所等での活動について、あなたが不安に思っていることをお答えください。【不安や悩みについて相談するか迷っている方】(n=11，単一回答)



5．「相談しておらず、解決していない」×問18不安なこと

- 学校や保育所等への活動における不安を相談していないが解決していない人が、学校や保育所等での活動について不安に思っていることは、「体力面」「精神面」が90.9%と最も多くなっています。

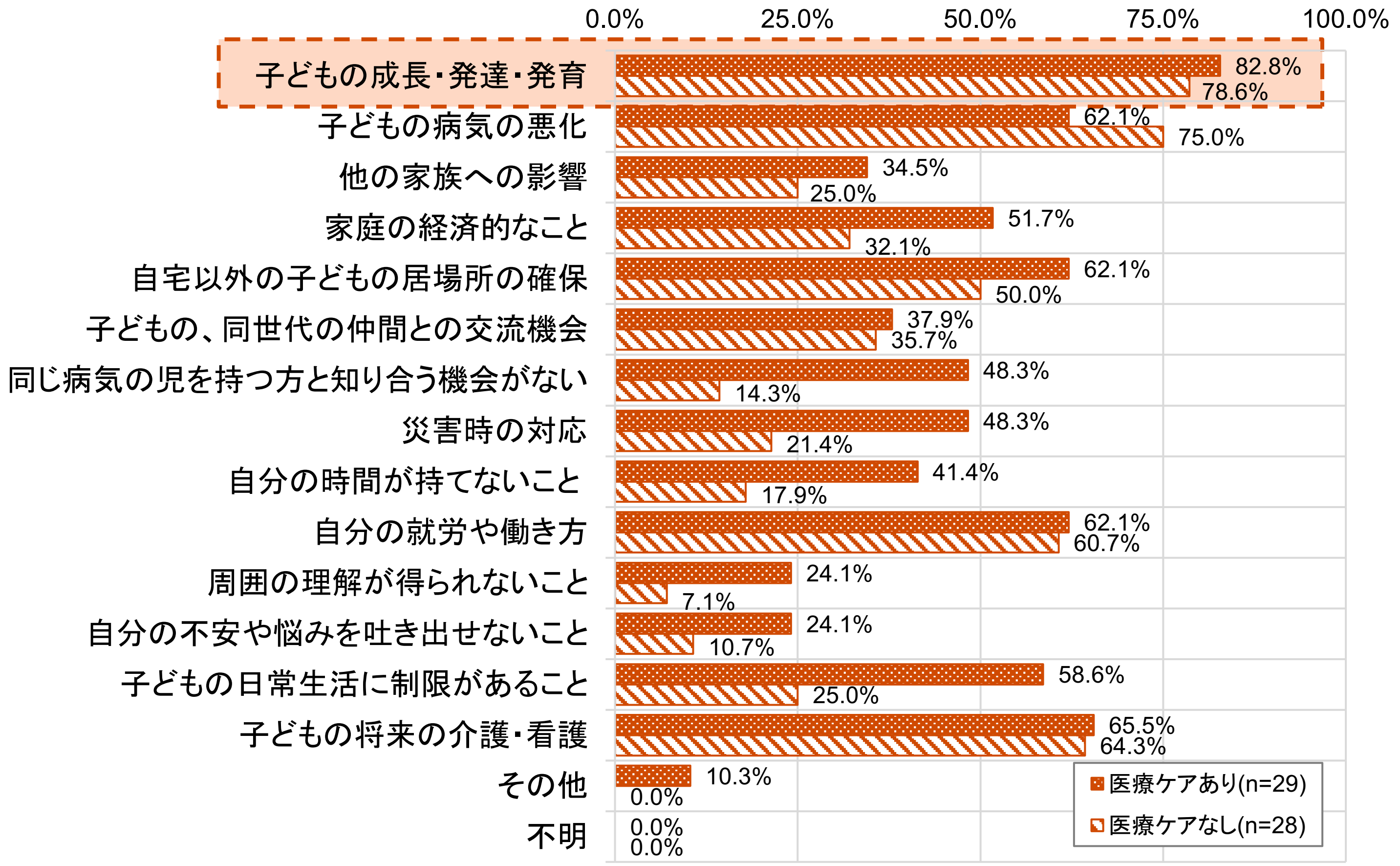
問18.お子さまの学校や保育所等での活動について、あなたが不安に思っていることをお答えください。【不安や悩みについて相談せず、解決もしていない方】(n=22，単一回答)



6．問10医療的ケアの有無×問13不安や悩み

- 「子どもの病気の悪化」以外、医療的ケアありの人のほうが、不安や悩みの回答率が高くなっています。
- 両者とも「子どもの成長・発達・発育」に関する不安や悩みが多くなっています。

問13.あなたの不安や悩みについてあてはまることをお答えください。（複数回答）

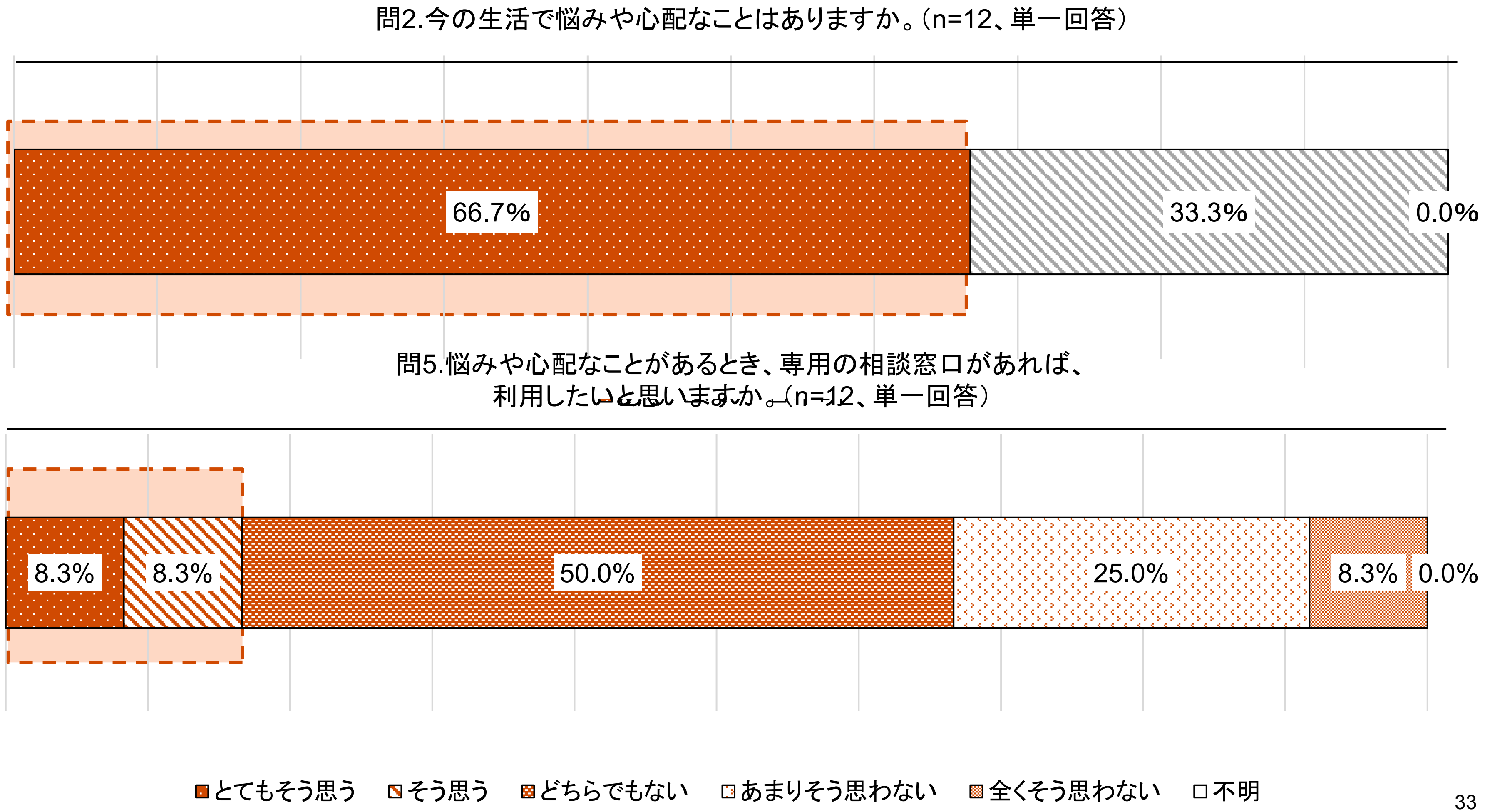


5

子ども向け調査の単純集計結果 資料

1．生活での悩みや心配なこと

- 今の生活で悩みや心配なことがあるは。66.7%となっています。
- 専用の相談窓口については、利用したいと「とても思う」「そう思う」は全体の16.6%になっています。



Thank you

© 2025 PricewaterhouseCoopers Japan LLC, PwC Consulting LLC, PwC Advisory LLC, PwC Tax Japan. All rights reserved. PwC refers to the PwC network member firms and/or their specified subsidiaries in Japan, and may sometimes refer to the PwC network. Each of such firms and subsidiaries is a separate legal entity. Please see www.pwc.com/structure for further details.
This content is for general information purposes only, and should not be used as a substitute for consultation with professional advisors.

pwc.com